

2018年度 科学技術社会論学会総会・年次学術大会プログラム

12月8日(土)

【第1セッション】 9:00 - 10:30

A-1-1【OS】チームサイエンスの科学の日本推進を考えるハテナソン

オーガナイザー：王 戈（科学技術振興機構）

天野 麻穂（北海道大学）

王 戈（科学技術振興機構）

佐藤 賢一（京都産業大学）

※WS形式でのセッションとなります

C-1-1【GS】ELSI再考

座長：山口 富子（国際基督教大学）

菅原 風我（東京大学）

「生物学的市民権(Biological Citizenship)」再考」

田中 丹史（早稲田大学）

「1970年代の日本における医の倫理論の再考」

見上 公一（東京大学）

「ELSI概念の再構築：Post-ELSIの議論とSTSの役割」

D-1-1【OS】東日本大震災と科学技術への市民参加——ブライアン・ウィン再考——

オーガナイザー：原 塑（東北大学）

原 塑（東北大学）

「東日本大震災直後の科学者と市民の対立——ブライアン・ウィンのカテゴリー的分離をめぐって——」

内田 麻理香（東京大学）

「欠如モデルの再検討——科学技術コミュニケーションの中核概念間の関係の整理——」

水島 希（総合研究大学院大学）

「「信頼」回復？ 放射線施策にみられる問題枠組みのミスマッチ」

ディスカッサント：尾内 隆之（流通経済大学）

【第2セッション】 10:30 - 12:00

A-1-2【GS】理論

座長：田中 幹人（早稲田大学）

萩原 優騎（東京海洋大学）

「リスク社会論に関わる言説の効果の再検討」

水上 拓哉（東京大学、理化学研究所）

「対話システムの倫理におけるフレーミングの問題——行為者性中心主義からの脱却を目指して」

永井 宏幸（市民科学研究室）

「リスクの確率を研究者はどう社会に伝えているか」

八巻 俊憲

「戦後の科学技術批判における武谷三男の位置づけについて」

B-1-2 【OS】 専門値の不定性：その多様性と社会性

オーガナイザー：尾内 隆之（流通経済大学）

平田 光司（高エネルギー加速器研究機構）

「先端加速器の機種選択の不定性」

本堂 毅（東北大学）

「受講者の多様性を逆手に取った大学院授業の経験」

中島 貴子（東京医科歯科大学）

「一般教養科目における『科学の不定性と社会』（信山社 2017）の活用法」

C-1-2 【OS】 ゲノム編集作物をめぐるガバナンスと市民

オーガナイザー：立川 雅司（名古屋大学）

松尾 真紀子（東京大学）

「ゲノム編集生物をめぐる規制とガバナンス」

立川 雅司（名古屋大学）

「ゲノム編集生物をめぐる研究者と消費者の認識」

三上 直之（北海道大学）

「消費者のグループ討論にみるゲノム編集作物の受容の現状」

ディスカッサント：三石 誠司（宮城大学）

【昼食】 12:00 - 13:20

【第3セッション】 13:30 - 15:00

A-1-3 【GS】 環境

座長：田中 隆文（名古屋大学）

吉田 悦子（東京大学）

「環境政策立案への市民参加の条件と効果に関する概念分析」

田中 隆文（名古屋大学）

「近代の六甲山荒廃地の緑化における“専門家”の関りの名目と実態」

李 霄（九州大学）

「燃料電池自動車についてー日本を中心にー」

B-1-3 【GS】 戦争と科学

座長：中島 秀人（東京工業大学）

黒田 光太郎（名古屋大学）

「戦中期の理系学会誌における戦争の痕跡」

中島 秀人（東京工業大学）

「ハンガリー現象と科学動員」

夏目 賢一（金沢工業大学）

「終戦直後の電気通信研究と実用化（development）概念」

C-1-3 【OS】 萌芽的科学技术を巡るリアルタイム・テクノロジーアセスメント

オーガナイザー：標葉 隆馬（成城大学）

標葉 隆馬（成城大学）

「萌芽的科学技术を巡るリアルタイム・テクノロジーアセスメントの試み」

河村 賢（成城大学）

「萌芽的科学技术のデュアルユースをめぐる科学者のバウンダリーワーク-ELSI 概念の再検討に向けて-」

吉永 大祐（早稲田大学）、田中 幹人（早稲田大学）

「萌芽的科学技术に対するメディア反応」

D-1-3 【OS】 農業新技術の評価における環境的価値と文化的価値

オーガナイザー：鈴木 俊洋（崇城大学）

鈴木 俊洋（崇城大学）

「我々はどちらの物語を選ぶのか？ースマート農業と里山農業ー」

北野 孝志（豊田工業高等専門学校）

「農業の持続可能性と適正技術」

寺本 剛（中央大学）

「土壌の環境倫理的価値」

【第4セッション】 15:20 - 16:50

A-1-4【GS】科学を巡る参加

座長：標葉 隆馬（成城大学）

種村 剛（北海道大学）

「対話劇を用いた「科学技術の社会実装についての熟議の場」の創出」

齋藤 芳子（名古屋大学）

「科学への市民参加の多様化をふまえた「名古屋大学星の会」についての考察」

横山 広美（東京大学）

「科学のクラウドファンディングにみる、支援の構造とソーシャルメディアの小公共圏」

B-1-4【GS】科学と表象

座長：八代 嘉美（神奈川県立保健福祉大学）

五島 綾子（元静岡県立大学，市民科学研究室）、竹中厚雄（滋賀大学）

「サイエンスの展開とエポカル・ブレイクに関する言説：モード論」

藤吉 隆雄（お茶の水女子大学）

「静岡科学館に伝わる手塚治虫が関与したとされる未来表象人型ロボットの来歴調査」

吉岡 有文（立正大学）

「日本の教育映画における「色彩映画」・「天然色映画」の導入と教授観の変遷：教育における映像メディアの科学技術社会論的検討」

磯野 真穂（国際医療福祉大学）

「糖質制限の考古学—なぜ、いかに広がったのか」

C-1-4【OS】「少子化」をめぐる科学言説

オーガナイザー：高橋 さきの（翻訳者・お茶の水女子大学）

田中 重人（東北大学）

「「少子化」論の変遷：日本社会は何から目を背けてきたのか」

鈴木 良子（フィンレージの会）

「拡大する「不妊」市場：人口政策に「科学」が協力するとき」

高橋 さきの（翻訳者・お茶の水女子大学）

「2010年代の「少子化」科学言説と科学史・科学技術論」

D-1-4【OS】予測がつくる社会

オーガナイザー：日比野 愛子（弘前大学）

山口 富子（国際基督教大学）

「イノベーションを語る/イノベーションをつくる」

鈴木 舞 (東京大学)

「未来を作る法システム」

SON Joonwoo (Columbia University)

「予測と政策のハイブリッド：日本の経済計画における予測モデルと投資誘導」

橋本 敬 (北陸先端科学技術大学院大学)

「語りと予測が生む複雑さ」

17:00- 17:40 総会

場所：322 教室

【懇親会】 17:50 - 19:50

場所：3 号館 1 階ホール

12 月 9 日 (日)

【第 1 セッション】 9:30 - 11:00

A-2-1 【GS】 科学と技術を巡る視座

座長：林 真理 (工学院大学)

多根 悦子 (東京大学)

「パーソナルデータ活用社会に対する人々の認識的課題」

比屋根 均 (ラーテン技術士事務所)

「自己エンジニアリングを開始させる倫理教育」

鳥羽瀬 孝臣 (電源開発株)

「技術者倫理と技術倫理」

B-2-1 【GS】 「市民科学」と放射能測定 —市民による測定をどう社会に位置づけるか

オーガナイザー：水島 希 (総合研究大学院大学)

中地 重晴 (熊本学園大学)

「事例報告：たべものの放射能をはかる会・T ウォッチ」

小山 貴弓 (みんなのデータサイト)

「事例報告：市民力で放射能を可視化する「みんなのデータサイト」の活動について」

上田 昌文 (市民科学研究室)

「放射線計測活動の類型化と市民科学的意義の指標化」

ディスカッサント：平川 秀幸 (大阪大学)、一方井 祐子 (東京大学)

C-2-1【GS】危険／危機に向き合う

座長：寿楽 浩太（東京電機大学）

辛島 恵美子（関西大学）

「メンタルヘルス対策の課題…労働者と企業の安全の観点から」

野村 祐子（消防大学校）

「防災対策に影響を与える社会的要因と心理的要因 —国際学力調査が駆動する理科教育カリキュラムの自己組織化—」

城下 英行（関西大学）

「原子力防災に市民は主体的に関与できるのか？—原子力防災のための議論の場とは—」

寿楽 浩太（東京電機大学）

「リアルタイム被害予測システム」の社会的逆機能の批判的検証（2）：緊急時の意思決定の「自動化」への憧憬と構造災」

D-2-1【OS】女性研究者支援政策の国際比較(1)：欧米の政策状況を通して

オーガナイザー：河野 銀子（山形大学）

河野 銀子（山形大学）

「女性研究者の実態と支援政策の国際比較研究の意義」

Phoebe Stella Holdgrün（Universität Bielefeld）

「Diversity and gender equality policies at German universitie」

小川 眞里子（三重大学）

「欧州における女性研究者支援政策 Policies for Supporting Women Researchers in the European Union」

財部 香枝（中部大学）

「米国における女性研究者支援政策」

E-2-1【OS】吉岡斉追悼セッション：通史・新通史フォーラムと日本の科学批判

オーガナイザー：川野 祐二（下関市立大学）

塚原 修一（関西国際大学）

「吉岡斉と通史・新通史」

綾部 広則（早稲田大学）

「吉岡斉の科学批判」

吉野 太郎（関西学院大学）

「吉岡斉と科学者の社会的責任」

関東 晋慈（九州大学／毎日新聞）

「吉岡斉と民主党政権の原発政策」

川野 祐二（下関市立大学）

「中山茂と吉岡齊の師弟にみる科学批判の系譜」

ディスカッサント：後藤 邦夫（NPO 法人 学術研究ネット）

ディスカッサント：桑原 雅子（NPO 法人 学術研究ネット）

【第 2 セッション】 11:20 - 12:50

A-2-2 【GS】 STS 教育の現在

座長：小林 俊哉（九州大学）

小林 俊哉（九州大学）

「サイエンスアゴラにおける STS ステートメントセッション実践報告」

福井 智紀（麻布大学）、内田 隆（東京薬科大学）

「科学技術に関わる意思決定と合意形成を支援する学習教材および教員養成・研修プログラムの開発（1）」

内田 隆（東京薬科大学）、福井 智紀（麻布大学）

「科学技術に関わる意思決定と合意形成を支援する学習教材および教員養成・研修プログラムの開発（2）」

許 豆任（東京大学）

「一般人のための科学教育 1 の発想：1930 年代旧制中学校における「一般理科」の成立」

B-2-2 【GS】 知識が作られるときと、そのポリティクス

座長：松原 克志（常磐大学）

小野田 敬（北陸先端科学技術大学院大学）

「研究者／研究支援者という二分法をのり超えるために一外部共用を行う公的研究基盤施設に関する事例研究一」

上野 伸子（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

「持続可能な航空機代替燃料への移行のプロセス:アクターネットワーク理論による分析」

川本 思心（北海道大学）

「デュアルユース問題に対する市民の態度」

一方井 祐子（東京大学）、横山広美（東京大学）

「娘の数物系進学に対する保護者の意向と保守度との関係について」

C-2-2 【OS】 特定の論点をめぐる事前対策の困難さー「非日常」のなかですすむ防災、復興の現場から

オーガナイザー：松本 行真（早稲田大学）

松本 行真（東北大学）

「避難と住民組織の関係ーインドネシア・バリ島アグン山噴火からの避難をめぐって」

山田 修司（東北大学）

「災害教訓と防災あるいは復興のための知識について」

久利 美和（東北大学）

「地域防災リーダーの育成と日常/非常時の役割」

D-2-2 【OS】 女性研究者支援政策の国際比較(2) : アジアの政策状況を通して

オーガナイザー：横山 美和（お茶の水女子大学）

大濱 慶子（神戸学院大学）

「中国における女性研究者支援政策」

横山 美和（お茶の水女子大学）

「日本における女性研究者支援政策」

大坪 久子（日本大学）

「日本の女性研究者支援事業と男女共同参画学協会連絡会の役割」

E-2-2 【OS】 人工知能の倫理とガバナンスをめぐる対話型 WS

オーガナイザー：江間 有沙（東京大学）

江間 有沙（東京大学）、服部 宏充（立命館大学）、吉添 衛（立命館大学）、

大澤 博隆（筑波大学）、神崎 宣次（南山大学）

※ライトニングトーク+WS形式

【昼食】 12:50 - 14:00

14:00 - 15:30 柿内賢信記念賞授与式および同特別賞受賞者記念講演

場所：322 教室

15:50 - 18:00 記念講演会

大会記念講演「科学技術イノベーション政策のこれまでと課題、STSの視点」

場所：322 教室

基調講演：小林信一（広島大学）

ディスカッサント：伊地知寛博（成城大学）、藤垣裕子（東京大学）、綾部広則（早稲田大学）